

## 平成25年度初任者研修北海道・東北地区研修会実施報告（概要）

本年度の同地区の初任者研修会は、7月31日(水)・8月1日(木)・2日(金)の3日間、山形県山形市のホテルメトロポリタン山形で山形県私立中学校等学校協会の実施で開催され、北海道10校、青森県5校、岩手県1校、宮城県9校、秋田県1校、福島県6校、山形県10校の合計42校82名の新任者が参加した。

開会式では、主催者を代表して平方邦行・当研究所理事、また実施団体を代表して石原弘迪・同会長より私学教育の重要性や新任者への期待などの挨拶があった。開会式後、東京私立中学高等学校協会東京私学教育研究所の清水哲雄所長より「私学教育について」と題し、最近の教育情勢についての世界の動き、特にグローバル化と文部科学省の動向そして日本私学教育研究所の活動等について、講演が行われた。

初日はその他分科会が実施され学習指導、生徒指導、学級経営、特別活動の4分科会で討議がされた。分科会の後、経験交流会が催され、平方理事の挨拶、石原会長の乾杯「おぼんです」で始まり指導講師の先生方を交えて歓談された。

2日目は「不登校・発達障害に対する理解並びにカウンセリング」についてFR教育臨床研究所花輪敏男所長による講演と実習、また午後からは山形大学大学院教育実践研究課山口常夫教授による「現代教育における教員としての心構え」と題して山口先生の体験をも踏まえ、教育への使命感と教育理念、教育の専門家として確かな力量と指導力などの大切さ等が語られた。その後分科会を実施した。3日目の全体会において分科会の報告と各分科会指導講師の助言がされた。その後の閉会式では、当研究所平方邦行理事が、

「これからの教育ー21世紀型教育ー」と題して「グローバル化社会における教育、21世紀に活躍できるように身につけなければならない教育など子ども達の未来を考えた教育をめざして欲しい。」と説いた。挨拶の後、修了書が代表者に授与され、3日間の研修を終了した。

なお、平成26年度と同研修会は、北海道札幌市で開催される予定である。

